

フ ラ ンス 日 記

1965年

6月13日 フランスの日曜日は汽車賃半額と聞き4人連れで(絵描き3名, ロンヤ文学研究家1名)初めての汽車旅行に出掛けた。モンバルナス駅から急行で1時間余り, 中世紀風な町シャルトルに着く。早速11~13世紀建立のゴシック建築の大寺院ノートルダム・ド・シャルトルを訪れ荘厳なパイプオルガンを聞き七色のステンドグラスに見とれる。言葉では言い表わせない素晴らしさ! 教会は芸術だ。外に出ると大伽藍の尖塔はイル・ド・フランスの空に高くそびえ, 美しかった。その後皆できなかった居酒屋に入り1杯ひっかけている時, 田舎のオッサんに話しかけられ, 4人共地酒のいきおいで受けて立ったが, 全然話しが通ぜず無念!

7月10日 相変わらずフランス語は駄目だがチットも不自由しない良さがパリか! 僕みたいな者がよく道を聞かれたり話しかけられたりして困る。昨日は友人の運転で120kmとぼしヴェズレーまで1泊旅行に行ってきた。ヴェズレーは中世そのままの町で, 町全体が緑に囲まれた丘の上にあり, 真中に教会, 町の周囲には崩れかけた城壁があり, 教会の彫刻が非常に美しかった。夜は音楽とセリフと光による聖劇が教会を舞台にして行われ, 役者は1人も出演せず, 面白いものを見た。

7月18日 ヴァンゴッホが生活し, 描き, そして自殺したオーベルへ汽車で行って来た。彼の描いた麦

畑, 教会, そして他の人々に比べてゴッホ兄弟の墓のなんとみずばらしいことか, 4畳半位の小さくきたならしい屋根裏のアトリエ等を見ていると何か淋しい様な, いやこれでいいんだとの思いやらが胸をよぎる。

11月23日 パリはますます暗くなり雨の日が多くなる。木の葉は落ちて枝だけとなり, パリは一段と美しい。今日は世界一美しいといわれるモンサンミッシェルの城を訪れた荒涼たる海に立つその姿は淋しさを耐える僕に力を与えてくれ, 暗くなるまで冷い秋風の中に立ちつくしてしまった。ノルマンディ海岸のあてもなく続くドロの様なぬかるみの中に昨日見たルドンの黒があった。深い黒だった。



紙製品事務用品文房具販売

株式会社

服部紙店

札幌支店

札幌市南1条西9丁目 電話 (24)9211

各代理店

百小牧製紙株式会社

十条製紙株式会社

本州製紙株式会社

北日本製紙株式会社

東北パルプ株式会社

千住製紙株式会社